

あなたとつなぐ

甲賀
こうが

市議会だより

KOKA city assembly report

令和4年(2022)11.01 vol.72



Contents

- 02 【特集】令和3年度決算
- 06 9月定例会議案審議
- 09 常任委員会日誌
- 12 委員会代表質問・一般質問／市の考えを問う
- 21 組合議会
- 22 甲賀市環境未来都市宣言
- 23 広報広聴委員会
- 24 【シリーズあなたとつなぐ】アプリコット

PHOTO [国ふえす 2022 in KOKA 会場]

【特集】 令和3年度決算

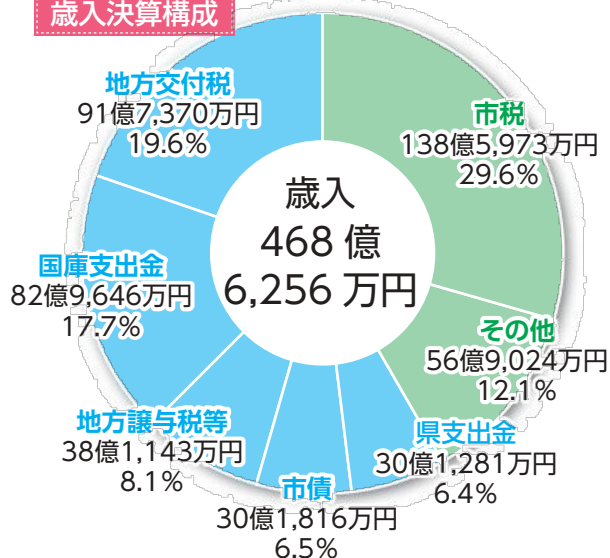


令和3年度 一般会計決算を集中審査

予算決算常任委員会では、9月20日・21日・22日・26日の4日間及び30日にわたり、令和3年度甲賀市一般会計歳入歳出決算及び令和4年度一般会計補正予算について集中審査を行いました。決算審査では、令和3年度が初年度となる第2次総合計画・第2期基本計画を進め取り組んだ市の各施策「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」の3つのテーマを中心に、各担当部局の説明を求め、全歳入歳出決算について審査しました。

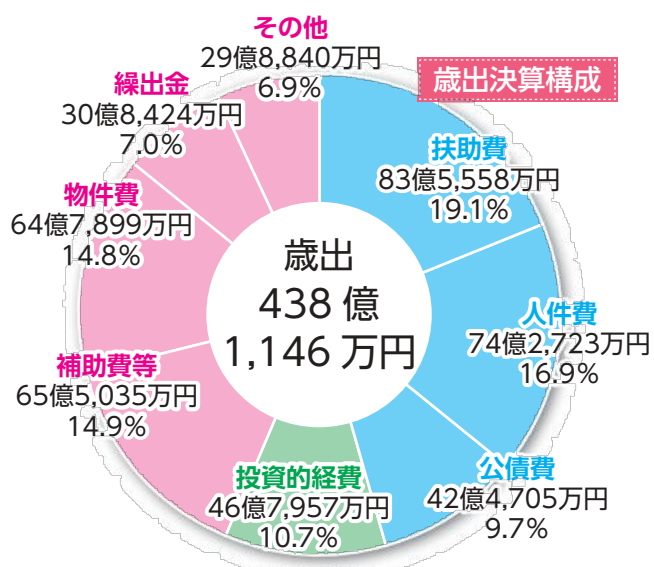
採決の結果、一般会計決算及び補正予算はそれぞれ認定、可決すべきものと決しました。

歳入決算構成



● **自主財源**…市が自主的に収入する財源。
この財源が多いほど、市独自の政策展開の自由度が高まる。
● **依存財源**…国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入。

歳出決算構成



● **義務的経費**…任意に節減できない極めて硬直性が強い経費。
● **投資的経費**…道路、橋梁、公園、学校、公営住宅の建設等、社会資本の整備等に要する経費。

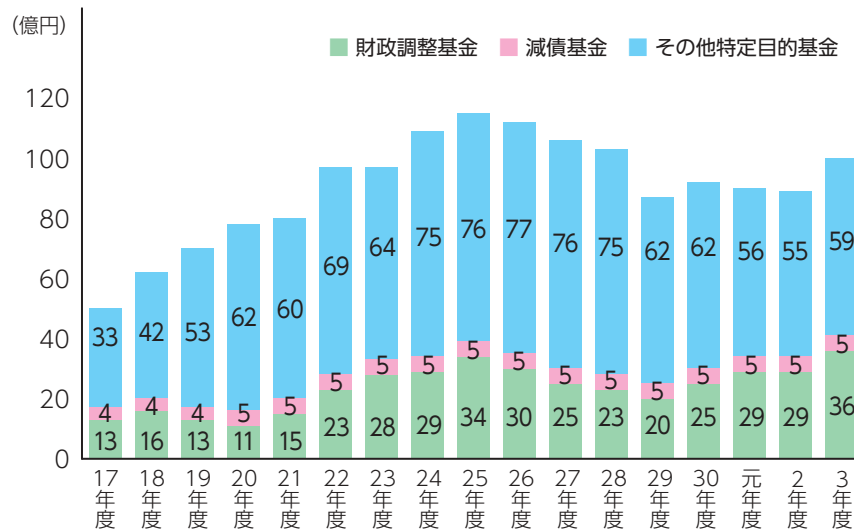
その他は、維持補修費、積立金、投資及び出資金、貸付金、予備費。

注：1万円未満を切り捨てているため数字が合わない場合があります。

【特集】令和3年度決算

基金現在高の推移

基金は各年度の財源を調整するための「財政調整基金」や市債の償還財源を確保するための「減債基金」のほか、施設整備など特定の目的を達成するために必要な財源を予め準備しておくため16の特定目的基金を設置している。平成17年度には49億円まで減少したが、令和3年度末で約100億円となった。



基金残高

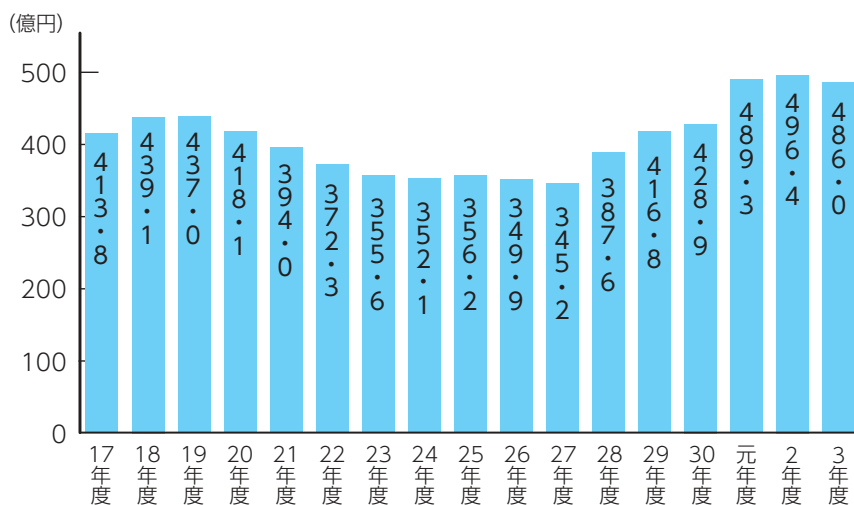
主な質疑

Q基金をもっと事業の予算に回せるのではないか。

A市の財政を鑑みると、将来的に財源不足になることが予想される。適正な財政運営を進めていく上で基金は重要であることから、このような残高になっている。

地方債現在高の推移

市債(地方債)は主に道路や学校等の公共施設を整備する際の財源として、国や民間金融機関から借り入れする。令和3年度末の残高は、庁舎整備事業等の償還が進み、前年度より10億円減の約486億円となった。



地方債残高

決算監査意見書

監査委員 山本哲雄・谷永兼二

令和3年度は第2次甲賀市総合計画第2期基本計画の初年度であり、「一般会計では「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」の3分野で、アフターコロナを見据えた「新しい豊かさ」へのスタートアップ予算として重点的に取り組まれた。決算規模は、庁舎改修整備事業や特別定額給付金給付事業が減少したものの、新型コロナウイルス感染症対策として、子育て世帯臨時特別給付金支援事業などを実施したこと、歳入歳出共に過去3番目の規模となった。

歳入総額468億6千2百万円、歳出総額438億1千百万円で翌年度繰越財源を差し引いた実質収支額は24億7千5百万円の黒字となった。

自主財源の根幹をなす税・料金の収入確保は、本市の安定的な財源確保のための最優先課題であり、市債権管理マニュアルによる統一した債権処理を、適正かつ速やかに実施し、収入率アップにつなげていきたい。

今後も国・県の補助制度を十分に活用した歳入を確保し、効率的・効果的な予算執行に努めると共に、限りある財源を最大限有効に活用しつつ、職員の強いコスト意識と創意工夫による事業見直しなど、財政健全化に取り組んでいきたい。

【特集】令和3年度決算

決算審査

部局別

総合政策部

高等教育機関等

立地検討作業委託

Q 調査内容とその活用は。

A 若者の移住・定住や専門人材確保を目的とし、県立高専の誘致に係る提案書を作成するため、市内事業所へのアンケート、市内学校の進路希望を調査し、現状とニーズの把握や地元経済界から提供できる支援内容を取りまとめたもの。

消防団活動推進事業

Q 予算対比約5百万円の不執行となっている原因は何か。

A コロナ禍で大会や訓練が中止され、費用弁償や負担金が不要となった。4年度は、訓練等の再開や団員の処遇改善等により地域防災力を充実させる。



訓練中の消防団員

総務部

組織風土改革研修・

支援業務委託

（職員研修事業）

Q 研修の対象者と内容及び成果は。

A 対象は全正規職員、研修は課長以上で行ない、どのように改革するのかを研修した。偏差値で全国平均を超えたが、今後も内部研修を継続する。

財政確保（都市計画税の研究）

Q 令和3年度実施計画の「都市計

画税の研究ではどのような調査を行なったのか。またその結果、導入を検討するのか。

A 導入した場合の増収予想や他市町の状況を調査した。導入する場合の税の公平性や市街化区域住民の理解など、他市町でも様々な議論があることより、導入しないと結論づけた訳ではないが、まずは行政内部で経費削減努力を行なっていく。

市民環境部

窓口業務のアウトソーシング

Q アウトソーシング前と比べ満足度は上昇しているが、かつた時間満足度は50%以下である。課題等の認識は。

A ほぼ良い・普通との回答を含めると90%以上が満足されており、悪いとの回答は約5%であった。今後においても委託業者と協議を行ない、丁寧な対応に努める。

信楽不燃物処理場

排水処理施設管理業務委託

Q 他町にも処理場があるが、信楽の場合特別の理由があるのか。また昨年9月、現在の借地を市が買

収してはどうかとの議論があったが、どうなっているのか。

A 信楽の場合は、一般廃棄物も取り扱っており、排水処理が義務づけられているためである。また買収については、話し合いを持ったが、金額が大きく、所有団体の運営に与える影響が大きいため、協議が進んでいない。

健康福祉部

介護職員支援事業

Q 研修補助について、実績人数が少なく、また予算比で未執行額が多いが。



介護職員研修の様子

【特集】令和3年度決算

A 過去の実績より予算化したが、コロナ禍で応募者が少なかったり、開催回数が減少したためである。

こども政策部

保育士確保事業(私立)

Q 予算と決算額が大きく相違するが、その要因は。

A 宿舍借上げ支援補助や就職一時金支援補助において、想定人数より大幅に下回ったため。

産業経済部

水田営農活性化対策事業

Q 麦・大豆への転作で、収益は向上しているのか。

A 10a当たり約1万円(10%)程度改善していると認識している。

有害鳥獣捕獲事業

Q 被害面積は半減しているが、被害額は微減である。原因は何か。

A シカ・イノシシとも全体としての頭数は減少しているが、特にイノシシが特定地域で拡大したため被害額はあまり減少しなかった。



獣害防止網にからまったシカ

建設部

空家等対策事業

Q 執行額が少ないが、原因は何か。

A 空家利活用アンケートでは有効と回答があったが、実際には空家処分や活用補助制度の利用が少なかった。補助金額等中身の見直しを今後検討する。

交通不便地域

移動支援事業補助

Q 補助金交付要綱が年度後半で遅いのではないか。また当初予算に比べ、執行額が少ないが。

A コロナ禍の影響もあり地域団体との協議が遅延したため、制度化が年度後半となり、また民間タクシーや地域ボランティアなどにより自主運行を検討されていた地域団体のうち、実際の申請が3団体と少なかった。今後も利用推進していく。

令和3年度 決算認定

反対討論

まず、一番大事な新型コロナウイルス感染症封じ込め施策は、十分だったとは言えない。必要なPCR検査を行なうなど市独自の思い切った施策が必要であった。また、住宅リフォーム助成やコミバス・コミタクの運行エリア拡大等さらなる充実が求められる。さらに、窓口業務をはじめ、民間委託がすみ、保育事業などの福祉・公共サービス分野に民間の参入が増加している。

また、自治振興交付金の監査強化や市職員の長時間労働の改善、健康管理強化も必要である。これから課題、問題点が多く、決算認定に反対する。

教育委員会事務局

第3子以降学校教育支援事業

Q 申請期限が短いのではないか。

A 5月にお知らせし、6月末期限としている。1ヶ月余りあり、期限は妥当と考えている。期限遅れでお断りしたケースも過去にはあった。

賛成討論

新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種、経済対策も適切であった。子育て・教育面では、認定こども園や保育所の整備、ICT教育の推進。地域経済面では、臨時経済対策や工業団地整備、農業者支援など。福祉・介護面では、生活困窮者や高齢者支援に取り組まれた。また、活力あるまちづくりのため、名神名阪連絡道整備促進や甲南駅周辺整備のほか、移住・定住に向けた取り組みも行なわれた。

財政面では、財政健全化判断比率など問題なく、決算認定に賛成する。

採決 賛成多数にて認定

9月定例会議案審議

9月定例会は8月30日から9月30日まで開かれ、令和3年度一般会計をはじめ、各会計決算認定10件、人事案件4件、補正予算7件、その他案件3件、意見書案6件、請願1件について慎重に審査しました。賛否の分かれた議案や本会議・委員会質疑、討論の骨子を紹介します。

PICK UP 1

国民健康保険特別会計決算

主な質疑

Q収入未済額が3億6870万8千円、うち現年度分は6500万2千円である。収入未済に至った理由、今後の対応は。

A過年度に遡及し税額が増額となった方や、事業不振により期限内納付が困難な方、分納納付や納付の猶予を行ったことなどが理由と考える。コロナの影響もある。今後も納税啓発を行い、部局間の連携を強化し、納税者に寄り添った対応に努める。

反対討論

医療給付費が県の平均と比べ増えている。高額な医療費を伴う疾病が多いとのことだが、原因を分析し、市民の健康を守る施策の充実が必要。制度そのものの反対ではなく、制度そのものの充実が必要であるという立場から反対。

賛成討論

財政基盤の弱さ等国保運営の厳しい中、保険者努力支援金等が増加し、安定した会計処理がされている。予防についても特定健診で2年度に比べ受診率が上がっている。また、保険税率の据え置きも評価できる。

採決 賛成多数にて認定

PICK UP 2

後期高齢者医療保険 特別会計決算

主な質疑

Q令和2年に比べ3年度は医療費

が減となっている。理由は。

A令和2年度は受診控えで県全体では医療費が下がったものの、甲賀市は伸びた。その関係で、令和3年度については県は増だが、甲

賀市は減となった。詳しく分析を行う。

反対討論

高齢者が増え医療費が増大すれば、それが保険料に跳ね返る仕組みといった制度そのものに大きな問題がある。健康診査も大幅に変更され、無料診断の対象が制限された。病気の早期発見のために検査は必要であり、施策の充実が求

められる。

賛成討論

適正な保険料賦課と徴収に努め、収納率は前年度より上がっている。不納欠損の状況把握、繰入金による保険料の軽減もされている。コロナにより検診事業は微減だが、施策の充実を図り、円滑な運営を願う。

採決 賛成多数にて認定

PICK UP 3

介護保険特別会計決算

反対討論

特養ホームの待機者は281人で施設定員の半数に近い。介護施設拡充の介護保険事業計画が必要。居宅サービスでは要支援、要介護1・2は利用率が減っている。利用料が高く手控えているのが実態。介護給付費準備基金を活用し、介護保険料の負担軽減も必要。

賛成討論

保険給付費が90%以上を占めるが、高齢者が増えている状況からみて妥当な結果。介護予防生活支援サービス事業も、事業全体で2年度に比べ増加しており、事業の充実が図られたと理解する。介護給付費準備基金への積立ても将来を見据えて行われている。

採決 賛成多数にて認定

9 月定例会議案審議

PICK UP 4

水道事業会計決算

主な質疑

Q 給水栓数は331栓増加しているのに、※有収率が前年度より0.25ポイント減となった理由は。

A 老朽管からの漏水によるもので、道路等の地表面に現れない地中漏水が大きな要因。

Q 上下水道料金の収入に関して、電話催告件数が1万2528件と多い。その要因、また結果は。

A 未納件数と未納額が増加傾向にあったため強化したが、結果とし

て年度末の収納率は0.09%減少した。

Q 給水停止執行件数が、71件で前年度より多い。その要因は。

A 令和2年4月から9月の半年間は、コロナ禍による配慮により給水停止の執行を猶予していたため、令和3年度は約2倍の執行となった。

採決 全員賛成にて認定

※有収率とは

給水する水量と料金として収入のあった水量との比率

PICK UP 5

令和4年度一般会計補正予算（第4号）

主な質疑

Q 財政調整基金の積み立てを7億3800万円と算出した経緯は。

A 地方財政法により決算剰余金の2分の1以上を積み立てると規定されていることから、決算剰余金24億7524万円の2分の1である12億3762万円以上を積み立てるために、他の基金などを差し引き、7億3800万円を算出したもの。

Q 財政調整基金の残高は35億6334万4千円と、過去最大となるが、規模についての所見は。

A 一般的には標準財政規模の概ね10%程度と言われており、本市の場合は25億から26億程度となる。今回35億6334万円と過去最大になったが、令和10年度までに30億の財源不足を見込んでおり、令和5年当初予算編成時の財源調整のため活用したい。

採決 全員賛成にて可決

令和4年度一般会計補正予算（第4号）の主なもの（単位：千円）

・ 財政調整基金の積み立て	738,000
・ コミュニティ推進基金の積み立て	171,000
・ 教育振興基金の積み立て	200,000
・ 鉄道施設基金の積み立て	300,781
・ 甲南統合認定こども園整備事業	130,000
・ 信楽保育園・信楽幼稚園施設整備事業	21,000
・ 道の駅あいの土山整備事業	113,180
・ 都市公園施設長寿命化対策事業	10,000



その他の議案

人事

◆ 人権擁護委員の推薦

前川志津子氏（信楽町）

藤田 真澄氏（信楽町）

数下せつ子氏（水口町）

大隅しのぶ氏（土山町）

市道の廃止

◆ 水口町朝目が丘団地11号線、古城が丘団地17号線

市道の認定

◆ 水口町朝目が丘団地11号線外6路線

財産の取得

◆ 小中学校配備の電子黒板購入につき、株式会社サックスと

9227万4600円で契約締結

報告事項

◆ 令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

◆ 経営状況の報告

◆ 信楽高原鉄道（株）

◆ 信楽高原鉄道（株）

◆ 南グリーンサポーター会

◆ 土山町緑のふるさと振興会

◆ 甲賀創健文化振興事業団

◆ あいの土山文化体育振興会

◆ 株式会社（株）あいのこまこうか

9月定例会議案審議・意見書

9月定例会議案の審議結果

全員賛成で可決・認定した議案	
人 事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(全4件)
決算認定	令和3年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて
	令和3年度甲賀市病院事業会計決算の認定を求めることについて
	令和3年度甲賀市水道事業会計決算の認定を求めることについて
	令和3年度甲賀市診療所事業会計決算の認定を求めることについて
	令和3年度甲賀市介護老人保健施設事業会計決算の認定を求めることについて
	令和3年度甲賀市下水道事業会計決算の認定を求めることについて
条例改正	甲賀市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	甲賀市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
	甲賀市老人福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
	甲賀市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

補正予算	令和4年度甲賀市一般会計補正予算(第4号)
	令和4年度甲賀市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
	令和4年度甲賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	令和4年度甲賀市介護保険特別会計補正予算(第1号)
	令和4年度甲賀市診療所事業会計補正予算(第1号)
	令和4年度甲賀市一般会計補正予算(第5号)
その他	令和4年度甲賀市一般会計補正予算(第6号)
	市道路線の廃止につき議決を求めることについて
	市道路線の認定につき議決を求めることについて
財産の取得につき議決を求めることについて	

提案者	全員賛成で可決した議案
戎脇	滋賀県ふぐの取扱いの規制に関する条例一部改正にかかる意見書の提出について
堀	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書の提出について
田中將	地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書の提出について

○：賛成 ●：反対

議案等の名称	提案者	討論		凜風会								誠翔会				公明党				日本共産党 甲賀市議員団			北田 麗子	堀井 進	糸目 仁樹	結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		反対	賛成	西田 忠	瀬古 幾司	西村 慧	林田 久充	橋本 恒典	谷永 兼二	田中 新人	橋本 律子	中島 裕介	奥村 則夫	小倉 剛	戎脇 浩	小河 文人	木村 眞雄	堀 郁子	田中 將之	西山 実	岡田 重美	山岡 光広																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
賛否の分かれた議案・意見書 議決結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
令和3年度甲賀市一般会計歳入 歳出決算の認定を求めることについて	市長	西山	橋本恒	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※田中喜克議員は議長のため採決に加わらない(敬称略)

総務常任委員会 日誌

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。



委員長 小河文人 副委員長 岡田重美 福井進・奥村則夫・瀬古幾司・西村慧・堀郁子・谷永兼二

■7月21日

公共施設使用料の見直しに係る基本方針(原案)について、協働のまちづくり指針(案)について、水口中央公民館周辺整備について等

■8月23日

消防団が抱える諸課題とその対応策について、自治振興会に係る例規等について、地域情報基盤コミュニティサービスの見直し(終了)について等

■9月16日

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、8月及び9月上旬の大雨の対応について、第2次総合計画第2期基本計画実施計画について

所管事務調査

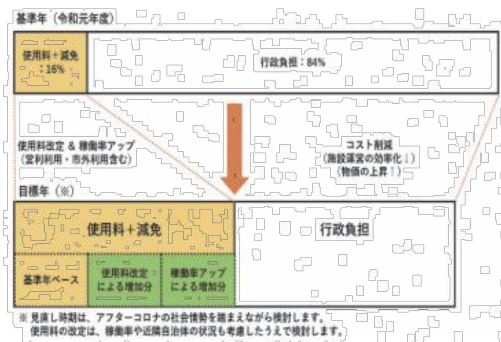
公共施設使用料の見直しに係る基本方針(原案)について

コロナ禍や物価上昇により急激な負担増とならないよう、目標は維持しながら基本方針の一部を変更し行動計画を見直すものです。

主な質疑

Q 施設間の不均衡はコロナ禍には当てはまらないと考えるがどうか。

A 旧町間の不均衡は早急に見直しが必要と考え、激変緩和で据え置き部分は令和7年に実施の予定。
Q 稼働率を上げる事が大事では。
A 稼働率を上げる事は考える。



基本方針のめざす将来像

消防団が抱える諸課題とその対応策について

令和3年9月の総務常任委員会代表質問で挙げられた諸課題に対し現時点の対応策①令和6年度以降5年間のポンプ操法大会出動隊について消防団の意見をまとめる。②市広報紙へ隔月に消防団コーナーを掲載。③女性消防団員の増強目標値を定める等を確認しました。

主な質疑

Q 女性消防団員は啓発に徹するの、現場にも出るのか。

A 火災予防や応急手当などの啓発、避難所の運営マニュアルなど側面的な活動をしていただく。

付託議案審査

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

働きながら育児がしやすい環境整備を進めるため、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正が令和4年10月1日に施行されることに伴うもの。職員が同一の子について、育児休業を現行の1回から2回まで取得可能とする等、取得回数の緩和がされます。

主な質疑

Q 改正により期待する効果は。

A 育児の2回取得が可能となることで、男女が協力して取得でき、男性の育児取得率の向上につながることを期待する。

採決 全員賛成で可決すべきものと決定

報告事項

水口中央公民館周辺整備について

水口中央公民館は築52年が経過し老朽化が著しいため、旧水口体育館並びに公民館別館を解体し、現在の施設機能に多文化共生機能を加えた複合施設として整備されます。令和6年6月に改築工事完了予定です。



水口中央公民館改築工事計画案

厚生文教常任委員会

日誌

市民の生活と福祉、医療、介護、子育て、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。



委員長 橋本律子 副委員長 戎脇浩 北田麗子・木村眞雄・中島裕介・山岡光広・田中新人

■ 7月22日 委員会協議会

新型コロナウイルスワクチンの接種について、信楽地域包括支援センター運営業務委託の状況について、伴谷統合認定こども園整備事業について等

■ 8月22日

民間活力導入検討に係るサウンディング型市場調査の結果について、窓口業務等の次期委託先の決定について、甲賀市地域型保育事業所整備事業について

■ 9月14日

令和3年度国民健康保険特別会計決算、介護保険特別会計歳入歳出決算、診療所事業会計決算、福祉医療費助成条例の一部改正、財産の取得等

■ 9月16日

夢の学習事業について、水口医療介護センター指定管理者制度の導入について、おくやみ窓口の設置等

所管事務調査

夢の学習事業について

公民館事業を委託している夢の学習の予算が年々拡大しており、委託内容や方向性を調査しました。

主な質疑

Q 高齢者の居場所づくりなど事業範囲が拡大。市の主体的な委託なのか。各担当課との調整はどうか。

A 事業者側からの提案もある。生涯学習の範囲として委託しているが、福祉分野などとの調整不足は否めない。今後更に調整を重ねる。

Q 夢の学習では参加費は無料、ボランティアには報酬が発生。一方、従来からの重複事業では参加費は有料、出役は無報酬であり、問題視されている。規模が大きくなれば一定の整理が必要ではないか。

A 問題点は把握しているが

夢の学習は無料が特徴である。今後従来事業との重複回避や差別化を進め、解決に努める。



夢の学習そろばん教室

公立甲賀病院の甲賀市立化に係る事務的協議の状況について

甲賀・湖南一部事務組合の公立甲賀病院の市立化を目指しての協議に関し、現状および進捗を調査しました。

主な質疑

Q 市内の医療体制を効率的に整備する上で有効な方向性だと考えるが、予定通りに進んでいるのか。



A 医療・財政・組合手続関係の3部会に分かれ、論点の整理や検討を進めている。一方、副管理者である湖南市長から現状の経営課題の解決が先決として、6項目の具体的な改善策を求められたが、進展が見られない部分もある。

付託議案審査

請願、特別会計決算、条例改正など14議案を審査および採決。

熱中症対策として高齢者世帯のエアコン購入及び設置に補助を求める請願

委員会協議会において請願人より願意を伺い、質疑、更に意見交換後、採決。

反対討論

生活保護費にもエアコン加算があり、既存の貸付金等の施策で対応していただきたいことから反対。

賛成討論

低所得高齢者の熱中症対策として補助することは有効な施策であることから賛成。

採決 賛成少数にて不採択すべきものと決定

令和3年度甲賀市病院事業会計決算認定を求めることについて

信楽中央病院の企業会計決算の内容について、市民の公的医療に寄与したか、という視点で審査。

主な質疑

Q 新型コロナウイルス感染症病床確保料は予定通り収納できたか。

A 3月分は5月の入金となったが、決算確定までであったため、年度内の歳入として計上済。

採決 全員賛成にて認定すべきものと決定

産業建設常任委員会 日誌

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。



委員長 橋本恒典 副委員長 西田忠 西山実・糸目仁樹・小倉剛・林田久充・田中将之

■7月15日

所管事務調査 貴生川駅周辺整備事業について
報告 道の駅あいの土山の再整備に向けた進捗状況、茶のブランド化について等

■8月9日

所管事務調査 甲賀市環境未来都市宣言について
道の駅あいの土山の活性化に向けた意見交換会の結果、産業建設常任委員会代表質問について

■9月15日

付託案件審査 野洲川基幹水利施設管理事業特別会計等6件を審査

報告事項 データセンター誘致に向けた取組状況について

所管事務調査

貴生川駅周辺整備事業について

貴生川駅周辺特区構想の事業の一つとして、貴生川駅南口の整備や柚川河川憩い空間の整備等が計画されています。事業を推進するため、市民と市が一緒に考え実現させる協議の場である「貴生川エリアプラットフォーム会議」を設立しワークショップ等が開催されています。

主な質疑

Q 11月に実施される社会実験について目的は。

A 貴生川駅周辺のまちの在り方に向けて、柚川と駅をつなぐ賑わい創出の社会実験を実施しながら、基本構想に反映したい。

Q 貴生川駅の利用者などのデータ分析を。

A 駅の利用者数、地価などの数値データもしっかり示していく。

甲賀市環境未来都市宣言について

主な質疑

Q 持続可能な社会へつなぐSDGsなど、大局的な観点が必要では。

A 持続可能なまちを文章の中に入れている。

Q ソーラー発電を進めた結果山や森林を削って大雨で被害が出ている。十分留意を。

A 他部署とも連携して、推進と規制を一体となって考えていきたい。

報告その他

道の駅あいの土山の活性化に向けた意見交換会について

8月3日、土山開発センターにて関係者をはじめとする市民との意見交換会を開催しました。

意見交換会

では①現在の道の駅あいの土山について②土山の特産品であるお茶について③今後の道の駅の経営について(組織体制・人材・企画・商品開発・販路拡大など)について3グループに分かれて開催。出された意見をもとに報告書を作成、委員会代表質問等に活かしていきます。



意見交換会の様子

土山「ほうじ茶」のブランド発表について

「土山一晩(ひとばん)ほうじ」は土山産の茶葉を一晩寝かせ、微発酵させてから焙煎すること、ほうじ茶の香ばしさに加え、発酵による甘く華やかな香りを楽しめるのが特徴。茶農家、茶匠、行政が一体となって産地のブランド化に取り組んでいます。



統一ブランドでの商品開発

付託議案審査

令和3年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計、甲賀市水道事業会計決算、甲賀市営住宅条例の一部を改正する条例の制定、市道路線の廃止、市道路線の認定について審査しました。

採決 以上6件、全員賛成で認定・可決すべきものと決定

2 常任委員会と 20人の議員が

市の考えを問う

令和4年
9月8日・9日・12日・13日

目次

令和4年 第4回甲賀市議会定例会委員会代表質問

委員会・氏名	質問事項
総務常任委員会 小 河 文 人	今後の自治振興会のあり方について問う 1 過去の総括について 2 組織と役割について 3 組織規模とエリア設定について 4 自治振興交付金の考え方について 5 法規関係の整理 6 今後の課題解決に向けて
産業建設常任委員会 橋 本 恒 典	道の駅あいの土山の活性化に向けて

令和4年 第4回甲賀市議会定例会一般質問（通告順）

順番	氏 名	質問事項	順番	氏 名	質問事項
1	奥村 則夫	1 育児休業について 2 空き家対策について	10	岡田 重美	1 公共施設使用料の見直しについて 2 隼人川みずべ公園にトイレの設置を 3 国道1号線の道路補修と除草について 4 南土山不動橋の舗装、市道東土山線の道路整備について
2	西山 実	1 コロナ感染拡大による対策の強化について 2 朝ご飯を食べずに登校する児童に朝食を 3 地域別ランドデザインについて 4 第4水口台市道崩落のその後の計画について	11	福井 進	1 タブレット等の活用と予算の在り方について 2 公私連携による認定こども園について
3	糸目 仁樹	1 空き家問題 遺品整理補助について 2 甲賀市環境未来都市宣言について 3 肥料を使わず微生物を活かした新農法の推奨	12	西田 忠	1 ソーラー発電所に関連した水害に学ぶ 2 伴中山・春日間の事業所について
4	戒脇 浩	1 水口医療介護センターの改革について 2 水口スポーツの森プールの今後について	13	林田 久充	1 工業振興による地域への影響と解決について 2 (仮称)伴谷くじらこども園新築工事の進捗について
5	田中 新人	1 マイナナンバーカードのさらなる普及と利用促進について 2 スポーツを活用した地方創生について 3 コロナ感染対策について	14	西村 慧	1 地域が実施する自主運行事業等への支援について 2 本市における移住・定住促進施策の効果について 3 住宅地における公園の維持管理について
6	堀 郁子	1 重層型支援について 2 教育支援について 3 まるーむの活用について 4 水口公園の活用について 5 セキュリティーシステムについて	15	中島 裕介	1 「ふるさと納税」の現状と方向性について 2 植樹祭後の会場整備について
7	小倉 剛	1 林業の実態と政策について 2 通学バス利用について(土山小学校) 3 小水力発電について	16	瀬古 幾司	1 ごみ集積所について 2 貴生川駅北口ロータリーについて
8	木村 眞雄	1 学校施設内の防犯対策について 2 庁舎内にバリアフリー対応の証明写真機の設置を 3 駅を有効活用して、まちづくりの拠点に	17	橋本 律子	1 公民連携による財政健全化強化を 2 市の国土利用計画について
9	山岡 光広	1 世界平和統一家庭連合(旧統一協会)について 2 新型コロナ「第7波」の特徴をふまえた緊急対策を求める 3 「信楽高原鐵道事故史」を公開停止とした経緯について 4 学校図書館の蔵書の充実、図書費の計算システムの見直しを求める	18	小河 文人	1 植樹祭後の、本市の脱炭素社会への取り組みについて 2 地理的表示GIについて
			19	北田 麗子	1 移住者の声が反映される移住定住施策について 2 市職員の働き方改革について
			20	田中 将之	1 商品軽自動車に対する軽自動車税種別割の課税免除について 2 地場産業の後継者育成を 文化芸術をまちづくりの柱に 3 子どもの目の健康予防について

■答弁者の凡例

総合政策部理事	総政理事	こども政策部長	こ政部長	産業経済部長	産経部長
健康福祉部長	健福部長	総合政策部長	総政部長	産業経済部理事	産経理事
危機・安全管理統括監	危機統括監	市民環境部長	市環部長	選挙管理委員会事務局長	選管局長

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の
録画が見られます。おくむら のりお
奥村 則夫
誠 翔 会

Q 育児休業の甲賀市モデルを

A 育児と仕事の両立できる職場を

Q 一般企業の育児休業の取得状況は。

産経部長 女性 94・2% 男性 16・7%。

Q 市役所内の育児休業の取得状況は。

総務部長 女性 100% 男性 22・2%。

Q 空き家対策と移住定住と合わせたわかりやすい窓口を作っては。

総政部長 来庁者が迷うことがないよう、案内等の改善について検討する。

Q 空き家の利用者の地域への受け入れ体制と空き家利用者のフォローは。

総政部長 集落ごとのルールブック作成や移住サポーターの任命などのサポートを構築する。

Q 空き家の企業向けの利用と個人向けの利用の2本柱での取り組みを。

建設部長 個人や法人・団体等による利用を進めることが重要で、広くPRが行える方法を模索していく。



空き家バンク

にしやま みゆる
西山 実
日本共産党

Q コロナ感染拡大の対策の強化を

A 県に対してしっかりと要請していく

Q 第7波の感染拡大では、発熱外来に予約が殺到し、対応できない状況があった。発熱外来の抜本的な強化、PCR検査の充実など、県への要請と市独自の検査体制の確立を。

健福部長 コロナ対策は、国や県において総合的に検討されるもの。保健所機能の強化も含め引き続き要請を強める。また、市独自に抗原キットを確保し、福祉関係施設に配布している。

Q 小学校低学年に朝食を食べずに登校する児童が多い、学校朝食を検討できないか。

教育長 朝食の重要性を鑑み、各家庭における朝食摂取の啓発を行うとともに、福祉部局や関係機関と連携して研究していく。

Q 地域別ブランドデザインの関わりの強化を。

総政部長 地域に丸投げせず、市の職員もしっかりと関わりながら課題解決に努める。

Q 第四水口台市道崩落から29年、現在の検討状況は。

建設部長 地下水位が高いことから、市道の復旧は難しいが、引き続き監視していく。



フェンスが設置された崩落現場

いとめ まさき
糸目 仁樹
無 所 属

Q 肥料の要らない微生物農法の推進を

A 県補助金の適応を

Q 枯草を土に被せてマルチでカバーすることで発生する糸状菌が農作物に良い。糸状菌は、草の栄養を農作物に運ぶ役割をし、強い農作物を育てる。強い作物は虫が寄らないため、農薬が不要になる。また、肥料が不要である。現在、肥料不足が深刻だが、この微生物農法を推奨することにより、この難局を乗り越えられないか。

産経理事 この微生物農法は環境保全型農業直接支払交付金の対象であるため、これを用いた支援が出来ないか検討する。

Q 空家問題の原因として遺品整理が大きな障壁ではないか。ここにもっと支援出来ないか。

建設部長 遺品整理事業に最大10万円を補助するなど、様々な補助制度がある。また、総合的な支援は住宅建築課にて対応をしている。



糸状菌の写真



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

えびすわき ひろし
戎脇 浩
誠 翔 会



Q 小学校プールを市民に開放しては
A 前向きに検討するべきだと考える

Q 水口スポーツの森プールが老朽化から廃止の方
向で検討されている。やは
り長年親しまれてきた
市民プールの代替え機能
を考える必要がある。特
に小学校での分団水泳が
監視の方法等から困難に
なっている中、夏休みの
健康的な時間の使い方に
プールは不可欠である。



老朽化が著しい「水口スポーツの森プール」

また水中歩行など、全世代に渡って社会教育施設としての必要性も考慮すべきである。例えば自治振興会に委託し、鍵や水質、水温の適正な管理運営、研修を受けていただいた上での監視業務を行っていただくことで、学校開放の一環としてのプール開放事業が可能ではないか。

教育部長 救護室などの整備、民間委託の現実性など課題がクリアできれば可能である。

Q 7月の土日を含め、学校施設の有効活用にもなり、元々水も溜まっているので初期投資は少ない。モデル事業としても考えられるのでは。

教育部長 提案に沿った課題解決方法を確認しながら、前向きに検討すべきだと考える。

たなか あらと
田中 新人
凜 風 会



Q マイナンバーカード普及と促進は
A 第2弾でマイナポイント最大2万

市環境部長 本年9月末
(現在は12月末)までに
マイナンバーカードの
申請をされた方対象に、
新規取得で5千円分、
健康保険証としての利
用申し込みで7500
円分、公金受取口座の
登録で7500円分、
計最大2万円分ポイントが付与される。

Q スポーツコミッションの立ち上げとスポーツ資源を活用した地方創生の取り組みを伺う。



商業施設での申請会場

教育部長 国スポ・障スポの開催にあたっては、「甲賀の魅力を発信し、地域活性化につなげる大会」目指し様々な分野で官民連携の大会をコーディネートできるよう準備を進める。

Q スポーツの森の一角にボルダリング施設を造ってほしい。

建設部長 スポーツクライミングの人気は高く、頂いた声を反映させたい。

Q スポーツ健康都市宣言を行っては。
教育部長 大会の機運を高める有効な施策で検討する。

堀 郁子
公 明 党



Q 重層型支援に女性支援の枠組みを
A 枠組みは大変重要と認識している

Q 5月に制定された困難女性支援法を受けて重層型支援体制に女性支援の枠組みが必要だと考える。女性相談支援員の設置、ライン相談の活用、庁内の女性活躍との協力、産婦人科や心理士との連携、夜間の相談体制について伺う。

健康部長 女性支援の枠組みは大変重要と認識している。ライン相談は近々開始する。様々な関係機関と連携し支援に努める。夜間は24時間電話相談の連絡先をホームページで紹介する。

Q 子供の才能を伸ばすため「金の卵プロジェクト」などに全員が参加できるようにしたり、教育クーポンの利用、タブレットに学びたいアプリを導入してはどうか。また全国大会へ出場するような方々への支援はどうか。

教育部長 全員参加のライブ配信などとする。教育クーポンは特定分野・経済的負担軽減へ有効。研究する。アプリ導入は検討。今年から激励金を支給している。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の
録画が見られます。小倉 剛
誠 翔 会

Q 市内での小水力発電の可能性は
A 調査を進める準備をしている

Q 小水力発電についての市の考え方は。

市環部長 地域活性化など別の側面での効果も期待できることから、野洲川や大戸川の支流が多く、設置の可能を秘めている本市においては調査結果を踏まえた中で小水力発電の導入推進に向けた方策を検討する。

Q 林業の実態と政策について。

市長 豊かな自然環境を未来にしっかりとつないでいくため、引き続き各施策を展開するとともに、市民皆様一人ひとりが環境保全の意識を持ち、環境元年と位置づけた本年をさらなる契機といたしまして、できることから実践していただけるよう啓発等に努める。

Q 通学バスの補助対象の見直しは。

副市長 子どもたちの通学にかかるとの安心・安全の確保や保護者の皆様方の不安解消につながるように、速やかに改善が図れないか検討する。



通学バスの様子

木村 眞雄
公 明 党

Q 駅施設の有効活用について
A 事例を参考に引き続き検討する

Q 全国の駅には空きスペースを活用して、駅を活性化させている事例がある。本市でもこれを参考に取り組みができないか。

建設部長 本市の各駅でも賑わいが創出できないか考え、情報収集に取り組んでいる。駅を中心としたまちづくりは市において重要な施策の一つであることから、紹介された事例を参考に、鉄道の利用促進のみならず、駅施設のさらなる有効活用について、引き続き検討をする。

Q 庁舎内にバリアフリー型証明写真機を設置し
てはどうか。

総務部長 設置されれば全ての方の利便性が向上することは認識している。現在、行政手続き等のICT化を進めており、今後、市民サービスを第一義としながら、ICT化を進める過程において、事業者の方々の意向も踏まえて判断していく。



津市役所内のバリアフリー型証明写真機

山岡 光広
日本共産党

Q 旧統一協会と政治家の関りについて
A 非難される団体と関るべきでない

Q 世界平和統一家庭連合(旧統一協会)と政治家の癒着、市長自身の関りの有無は。

市長 旧統一協会は、社会的、法的に非難をされる事案を起こした団体である。国民を代表する政治家が関りを持つべきではない。

Q 第七波の特徴をふまえたコロナ対策。自宅療養者への食糧支援、検査キットは配備、感染リスクが高い医療・介護・障がい者施設での定期的な頻回検査、予約なしワクチン接種、若中年層への接種促進など拡充対策を。

健福部長 要望があれば、買い物代行も可能、抗原検査キットを1300個確保し、医療・介護施設等での感染抑止対策に。またワクチン接種率向上に取り組む。

Q 信楽高原鐵道事故史をなぜ公開停止としたのか、問題があれば加筆修正して発行するべきではないか。

副市長 客観性の担保なしに編集されたもの。内容修正を要請する考えには至らなかった。



「信楽高原鐵道事故史」



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

おかだ しげみ
岡田 重美
日本共産党



Q 公共施設使用料値上げ止めるべき
A 使用料の見直しは進めていく

Q 公共施設の使用料に、受益者負担の考えを持ち込み値上げをすることは、市民の活動に支障をきたすもの。使用料値上げは止め、施設利用の促進に力を注ぐべき。

総務部長 使用料の見直しを進める一方で、より施設が使いやすくなるよう、稼働率の向上につながる取り組みも示していく。

Q 国道の雑草が目立つ。草刈りの徹底、草刈りの回数を増やすよう申し入れを。

建設部長 滋賀国道事務所へ申し入れを続ける。

Q 南土山不動橋の舗装がはがれ傷んでいる。修繕を。市道東土山線の道路整備の完了は。

建設部長 不動橋は舗装修繕を行う。東土山線は早期完了に向け予算確保に努める。

Q 隼人川みずべ公園は利用者が増えている。早急にトイレの設置が必要ではないか。

建設部長 紫香楽宮史跡公園と調和のとれた施設の方向性が決まれば、検討を進める。



多くの利用で賑わう隼人川みずべ公園

ふくい すずむ
福井 進
無所属



Q 未来へつなげる保育・教育予算を
A 子育て・教育No.1を目指していく

Q 小中学校で使用するタブレットの機種・機能がバラバラになっており、授業で活用しにくい状況になっていることについて。

教育部長 今後、機種の統一を図っていく。

Q 甲賀市は、エアコンの設置に関して、補助金の対象でなかった特別教室(小学校62教室・中学校29教室)が、いまだに設置されていないことについて。

教育部長 一気にはいかないが整備を進める。

Q 現場の声を活かした予算の編成について。

市長 現場主義を貫き、気概を持って取り組んでいきたい。

Q 公私連携の「子ども園」に対する支援について。

市長 七月から園長経験者の配置等の支援を実施している。今後、伴谷・甲南についても同様の人的支援等を適正に行う。



水口中学の外トイレ(昭和53年施工)

にしだ まこと
西田 忠
凛風会



Q ソーラー発電所関連の水害に学ぶ
A 設置への審査を厳格に行う

Q 7月19日、春日・八田地区でソーラー発電所に関連する災害あるいは災害の一手手前の状況が発生した。市の認識はどのようなものか。

建設部長 春日地区の施設については是正指導をし、対策が行われる予定。早期の是正工事完了と土砂流出の軽減に向け指導を継続する。

八田地区の2箇所の施設については、周辺から短時間に道路側溝に許容量を超える雨水が流れ込んだ。現在は側溝の吐出口を広げるなどの工事を実施し、今までより多くの水が流れるように対策を講じた。

Q 災害の経験を今後どのように生かすのか。

建設部長 提出される申請に対し、

市が定める開発行為に関する技術基準による審査を厳格に行い、本市における太陽光発電所設置に関するガイドラインの作成も進め、市民生活との調和を図りたい。



土砂が流出した春日地区の施設

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

林田 久充
凛 風 会

Q こども園に関する地域との協議は
A 地域と合意形成を図り進めている

Q (仮称) 伴谷くじらこども園新築工事に関して地元区等との主な協議ポイントは何か。

こ政部長 第三者協議会では、遊戯室の必要性や低年齢児の保育環境、旧園舎解体中の安全対策等協議を行い、可能な限り反映できるように調整を行った。結果は市のホームページに掲載。伴中山区に関しては、建築工事等に関する説明会を数回実施。造成地からの排水流出防止や暗渠水路の維持管理、造成現場で使用した再生碎石について意見をいただいている。

Q 地元区から工事対応等に厳しい意見もあるが。

こ政部長 開発行為に関しては実施計画検討委員会でも検討してきたが、地元区への説明は無かったためご心配をおかけした。また、造成後の降雨時に隣接する用水路が白く濁った。検査を実施し、水質には問題は無いが、応急処置等誠心誠意対応する。



(仮称) 伴谷くじらこども園造成工事

にしむら けい 西村 慧
凛 風 会

Q 検証でより良い移住・定住施策を
A 他市町を参考に検証方法を検討

Q 有限な予算においては、執行率だけでなく、移住・定住施策の効果の検証が必要ではないか。

総政部長 個別把握は無いが、補助金等の直接的施策を魅力とされている方はわずかと認識。

建設部長 令和3年度において「補助金交付要綱」策定。令和5年秋に公共交通網再編を予定。

Q 補助金の目的は、買い物や通院等に限定のか。

建設部長 自治振興会等単位での健康づくり、スポーツ、趣味の活動の利用も想定している。

Q 市内の住宅内に設置されている公園の数は。

建設部長 令和4年9月1日現在、101箇所。

Q 当該公園管理は。

建設部長 所有は市であるが、地域と覚書を締結、除草等をお願いしている。

Q 遊具やフェンスなどの設置補助は。

こ政部長 地域が管理をされていれば、プレイパーク整備推進事業補助金の対象である。



地域の皆さんの清掃活動

なかじま ゆうすけ 中島 裕介
誠 翔 会

Q ふるさと納税の今後の方向性を問う
A 使い道に着目した取り組みを進める

ふるさと納税の現状と方向性について

Q 令和3年度の寄附総額、税控除を差し引いた金額を伺う。

総政部長 令和3年度の寄附総額3億1842万1千円になり、収入額は598万188円である。



ふるさと納税返礼品

Q 登録の推進活動について伺う。

総政部長 返礼品の開拓を進めるとともに、ご提案の登録講座等の開催など、魅力ある返礼品の登録に向けて、取り組みを強化する。

Q ガバメントクラウドファンディングについて伺う。

総政部長 今後は文化財の保存などの取り組みや、市内で活躍されている市民活動団体や起業家などを応援できる取り組みとして、さらなる充実に向けて検討する。

Q 今後のふるさと納税目標金額達成の仕方について伺う。

市長 体験型による関係人口の創出や、オリジナリティのある返礼品による地域経済の活性化、また、市民活動団体や起業家への応援など「使い道」に着目した取り組みを進める。



QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

瀬古 幾司
凛風会



Q ごみ集積所を市管理にできないか

A 懸念事項が多く慎重な検討が必要

Q 設置組織会員以外の住民が利用することについての市の見解は。

市環部長 抜本的な解決は難しく、設置管理者との話し合いをしてほしい。合意がない場合は、衛生センターやエコステーションへ直接搬入してほしい。

Q 新規設置は可能か。

市環部長 10戸以上での申請があれば可能。

Q 一律に市の管理とすることや各自治振興会に1カ所程度市管理の集積所を設置することも考えられるが。

市環部長 不適正な分別や長期間放置など環境意識の低下と管理面の問題、また自治会離れの助長など懸念され慎重な検討が必要。

Q 貴生川駅北口ロータリー中心部停車スペースの有効活用を。

建設部長 北側に間口を設置するなど有効に活用出来るよう、利便性と安全性を考慮し、協議・調整を行う。



貴生川駅北口ロータリー

橋本 律子
凛風会



Q 甲南IC周辺地域開発の現状と将来

A 新たな産業用地確保につき調査する

Q 甲南IC周辺における地域振興施策にハイマートヒルズ構想(アクセス道整備・工業団地開発・PA活用)が示されて20年経過した今、将来像は。PAエリアからの流出経路実現の見通しは。

建設部長 明確な必要性・費用対効果が見いだせない。今後利用状況等注視検討。

Q 現工業団地の現状と今後。

建設部長 域内団地は3カ所、面積70・5ha企業31社、空き区域なし。

Q IC周辺地域の開発の現状と将来像は。

建設部長 現在民間開発の相談あったが具体的でない。今後、都市計画マスタープランに基づき、ICを活かした新たな産業用地確保について調査を進める。



開発の期待される区域

小河 文人
誠翔会



Q 環境未来都市宣言制定とその意義

A カーボンニュートラル実現を目指す

Q 環境宣言を生かすためには、市民への周知及び取り組みについて問う。

市長 この大きな目標への到達は、到底行政だけで成し得るものではない。まさに産官学民一体的な取り組みが必要だ。そのため、行政が主導的に事業展開する事、各事業所の取り組み、さらに、市民皆様一人ひとりができることから始めていただく事が大変重要である。広報紙、ホームページ、ラインまたフェイスブックなどのSNSを活用しての周知を予定している。

Q 未来に引き継ぐ子どもたちの環境教育について問う。

教育長 本市の学校教育の指針において、環境教育の充実を掲げ、本宣言において、身近な暮らしや地域に目を向け、自然や郷土を愛する心情や問題解決に向けた意識を養い、自ら主体的に行動できる子ども達の育成に尽力していく。



6月に開催された全国植樹祭メイン会場

一般質問

QRコードで質問の録画が見られます。

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

北田 麗子
無所属



時間外勤務の現状は

災害対応・感染症拡大につき増加

1人1人の業務量が多すぎないか。

総務部長 適切な業務量の把握と職員配置に努め、働きやすい職場環境づくりを実施する。

ハラスメントの認識及び対策はいかに



市長 ハラスメント行為は断じて許されるものではない。すべての職員が互いに尊重し合える安全で快適な職場環境づくりのため、対策の強化、相談体制の整備を進める。

地域のしきたり的な部分が明文化されず、移住者と受け入れ地域でミスマッチが生じる問題がある。市の方針は。

総務部長 「集落のルールブック」作成支援を進めている。移住者のためだけでなく、作成過程において地域住民自らが集落のルールを見直すきっかけとなり、住みやすい地域づくりへと繋がると考える。

教育をきっかけに移住を考えるなら、オルタナティブスクールの誘致を検討してはどうか。

教育長 これまでの学校に代わる新しい学校については、情報収集し、研究を進める。

田中 将之
公明党



信楽産業展示館を次世代育成に活用できる空間をつくっていく

甲賀市の地場産業である「信楽焼」。次世代を担う後継者育成が大きな課題となっている。陶芸の森では、つちっこプログラムという事業が約20年前から行われ、年間1万人を超える児童生徒が参加し、累計では15万人を超えている。同プログラムの来園制作の実施場所については、信楽産業展示館の舞台裏で、ホールと一体とした場所であり、本来、舞台などで使用する場所である。同展示館設置条例の目的は、信楽焼産業の振興と市民の文化の向上を図るため、とある。同プログラムを産業展示館の展示室の一部を改装し、オープンスタジオを作っては。

産経部長 国内外の美術館では、近年、展示スペースにワークショップ等が開催できるスペースを併設している事例もある。同展示館も展示室の一部を、ワークショップ等に活用できる空間として、リノベーションする。

つちっこプログラム



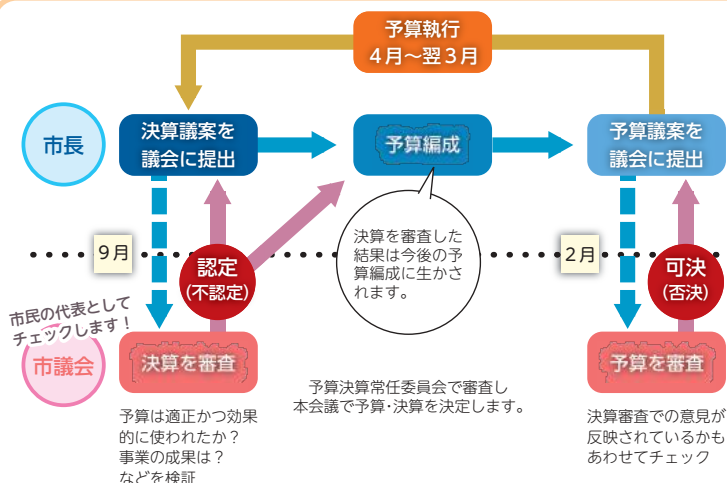
つちっこプログラム

予算と決算の審査とは



市の予算は、使って終わりではありません。市長は、予算がどのように使われたのかを決算としてまとめ、議会はその内容をチェックします。

決算審査では、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業成果が上がったかなどを議会で審査し、改善点の指摘や要望をします。それを市が『来年度予算に生かす』ことにより、決算審査の結果が今後の予算につながっていくのです。



組合議会報告・市長との意見交換会

甲賀広域行政組合議会

令和4年第3回定例会

10月14日

●甲賀広域行政組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について専決処分につき承認を求めることについて。

提案理由

非常勤職員の育児休業の取得要件等について所要の措置を講じるため、条例の一部を改正するもの。

採決 全員賛成にて可決



基幹改良工にかかる焼却炉

●令和3年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定について

4965万8361円翌年度繰越

採決 全員賛成にて可決

●令和4年度甲賀広域行政組合一般会計補正予算(第1号)

提案理由

前年度繰越金確定、人件費見込み、契約の確定による歳入歳出予算の補正措置、また衛生費における債務負担行為を追加するもの。

採決 全員賛成にて可決

全員協議会

●消防関係報告事項
事故の和解と損害賠償の額について 17万3200円

救急事業

に出動し傷病者を乗せ、病院に向かう途中、救急自動車に道を譲るため停車した車と中央ボールの間に通過するとき左サイドミラーが接触したものと。



一般質問

西村慧議員から煙火打ち上げ・仕掛けに関する届出について、山岡光広議員から救急搬送について質問がありました。

市長と議会との意見交換会

例年、議会ではフレキシブルに市長との意見交換会を行ってまいりました。今年度は8月1日に話題提供者をお招きし、テーマを決めて行いました。

テーマ「選ばれる街とは」

話題提供者 池本 洋一氏

(株)リクルートSUMMO編集長

(甲賀市出身)



話題提供①

住みたい街ランキングから甲賀市の位置づけや魅力、強みや弱みの分析を提供していただきました。

強みとしては「自然が豊か」「公園の充実」などがあり、弱みは「子育てや教育環境」「住民がそのまちを好きそう」などの項目で低い値が出ているとのことでした。

話題提供②

次に「全国の街づくりの好例から学ぶ」また「メディアに取り上げられる街づくり」として全国の事例を紹介いただきました。リノベーションやSDGsといったテーマ設定やローカルヒーローの重要性がポイントとなりました。

意見交換

まちづくり人材に関しては、二代目への継承は困難。単なる継承ではなく、新しい視点でチャレンジしていただくことが重要。

特色ある教育に関しては、「子どもたちがやりたいことを応援できる教育行政」であること。

市長からは、人生を豊かにするために市民の声を聞き、職員も一丸となって取り組むことが大切、との意見が出されました。

まとめ

今回は話題提供者への質問が多く、議会と市長との意見交換の時間があまり取れませんでした。特にメディアの重要性など大いに刺激を受けた機会でした。



甲賀市環境未来都市宣言

議会と市で共同宣言

9月30日議場での宣言式において、「甲賀市環境未来都市宣言書」に田中議長、岩永市長が共に署名。甲賀市初の議会と市の共同宣言となりました。



宣言においては

令和4年度の市長の施政方針の中でも示されており、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けてオール甲賀で取り組むことを内外に宣言するものです。また、6月に当市を主会場として開催された第72回全国植樹祭を契機として、その機運を醸成し、甲賀市においてもゼロカーボンシティとなるべく、今後計画的に施策を進めることとされています。

議会においては

共同宣言の是非の判断のため、会派代表者会議や産業建設常任委員会、協議、調査を行いました。その上で、今後も計画や事業に対して調査を重ねるとともに、議会からも提案や啓発に努めることなどを確認しました。また宣言文についても、市との共同作業として、その作成に関わったところです。議会も宣言の当事者として、甲賀市がゼロカーボンシティとなるべく、その責任の一翼を担うものです。



甲賀市環境未来都市宣言

～ ゼロカーボンシティへ オール甲賀の挑戦 ～

地球温暖化による異常気象により、世界中で深刻な自然災害が発生し、温室効果ガスの排出抑制が喫緊の課題になっています。国においても、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルをめざしています。

鈴鹿山系を望む丘陵地にある甲賀市は、野洲川・杣川・大戸川沿いに文化が発展し、広大な森林は琵琶湖の水源涵養、水質保全にも重要な役割を果たしています。この豊かな自然環境のもと、忍者、信楽焼、東海道、お茶、薬などの歴史や産業が調和しながら発展してきたまちです。

これまで、全国に先駆けた生ごみ堆肥化事業や地域での清掃活動などを通じて、市民一人ひとりが身近なところから環境に優しいまちづくりに取り組んできました。

今を生きる私たちは、豊かな自然を守り、環境と経済・社会活動が調和した持続可能なまちを、未来の子どもたちに引き継ぐため、次の挑戦を行います。

- 【挑戦1】 再生可能エネルギーを軸としたエネルギーシフト
- 【挑戦2】 エネルギーと農林水産物の地産地消
- 【挑戦3】 豊かで健康な森づくり
- 【挑戦4】 環境に配慮した住みやすいまちと災害に強いまちづくり
- 【挑戦5】 環境を意識した行動ができるひとづくり

2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティ、「環境未来都市」をオール甲賀で実現することをここに宣言します。

令和4年（2022年）9月30日

甲賀市長

岩永裕貴

甲賀市議会議長

田中喜克

市民の皆さまとの 意見交換会

市民の皆さま
×
甲賀市議会

甲賀市議会は、開かれた議会をめざし、広聴活動として市民のみなさんから多様なご意見をお伺いすることを目的に、意見交換会を開催しています。4班に分かれて開催し今回から内容を順次、報告していきます。



📌 日々の暮らしに不安が…。

柏貴区の総意で退去を願っている教団アレフ信者について24年にわたり解決を願うが未だ進展がない。滋賀県で唯一、甲賀市内に拠点が点在している中で、市の危機管理に対応する甘さや問題視してないのかと感じる…。
区の皆さまから切実な現状をお聴きし問題意識の共有をはかりました。

01 柏貴区〔水口町〕8/20 開催

📌 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けたいが課題も…。

地域の危険箇所、道路の除草作業、民生委員さんのなり手がなく、区に丸投げ状態、水口曳山や水口囃子の継続の不安、コミュニティスクールの今後、区・自治会のあり方など、たくさんの課題をお聴きしました。これを受けて、2回目の開催をすることになり、次回は課題を絞ってさらに議論を深めていきたいです。

02 水口地域区長会理事会〔水口町〕9/16 開催



水口地域のそこに「愛」はあるのか。

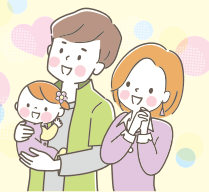
◎開催をご希望の団体は、議会事務局までお問合せください。

メール koka05101000@city.koka.lg.jp 電話 0748-69-2258

シリーズ
「あなたとつなぐ」

議会だよりのタイトル「あなたとつなぐ」をテーマに、市民の皆さまの活動を広報広聴委員会で取材し、ご紹介いたします。

一般社団法人 育児ひろば
アプリコット



ここまあち
情報発信

- ここまあちねっと「おしらせ」
- ここまあちLINE 配信
- ここまあちInstagram 運用



ここまあちねっと



ここまあちLINE



ここまあちInstagram

●活動のきっかけは

2005年ママ数人が集まり「週3回の子育てひろば」をスタート。

「親子が集うひろば」がまだ珍しい頃で、主に他市からのママが情報交換やイベントを楽しんでいました。

●今日に至るまでの経緯は

2009年～2018年「親子カフェアプリコット」を運営。

2009年「甲賀市つどいの広場」

2017年「てるてるパーク」を甲賀市より受託。

甲賀市つどいの広場

水口体育館



親子が遊んだり
交流できたりする
ひろばです。
(※要予約)



つどいの広場ブログ

てるてるパーク

雨の日でも遊べる室内型公園。
土日祝も開館しています。
(※要予約)



てるてるパークブログ

多くのママスタッフと
共に、ママ・パパ・祖父
母とお子さんが楽しく
過ごせる場を提供して
います。



●活動の中で感じておられることは

「少子化」「女性活躍」の視点で活動してきましたが、対象の多様化を感じています。

妊娠・出産・育児に加えて、発達・子ども食堂・不登校・外国籍など、民間ならではの柔軟さ・素早さ・当事者目線で、活動ができればと思っています。

●議会だよりについて感じられることは

日々暮らしている街の「今と少し先」を具体的に知ることができる貴重な機会と思い読ませてもらっています。

編集後記

▶議会閉会後に、議長と市長が共同で「甲賀市環境未来都市宣言」を行いました。気候危機打開へ、CO₂削減に向けみんなで力を合わせましょう。一人ひとりの行動に地球の未来がかかっています▶今回の議会だよりは通常の記事に加え、決算審査や市民のみなさんとの意見交換会の内容などをお届けしました。できるだけ難しい用語は使わず、「わかりやすく」「読みやすい」内容を心がけていますが、まだまだ改善しなければならぬと感じています▶みなさんからの声など、ぜひお聞かせください。

(広報部会 岡田 重美)

議会の傍聴ができます。

本会議と委員会は誰でも傍聴することができます。ネット中継もしています。

12月議会の予定

11月29日 9時30分～

本会議(第1日)議案上程・提案説明

12月7日 9時30分～

本会議(第2日)議案審議・付託等

12月8日 9時30分～

本会議(第3日)一般質問

常任委員会代表質問

12月9日 9時30分～

本会議(第4日)一般質問

12月12日 9時30分～

本会議(第5日)一般質問

12月13日 9時30分～

本会議(第6日)一般質問

12月14・15・16・19日

9時30分～

委員会

12月22日 9時30分～

本会議(第7日)委員長報告・質疑・討論・採決

11月						
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月						
			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

カメラの



国際交流協会の国際交流フェスタ「国ふえす 2022in KOKA」が3年ぶりに対面で開催されました。多くの方々が参加され、国際色豊かな展示、屋台の食べ物、ステージ発表を楽しんでおられました。みなさんと集え、顔を合わせて、笑いあえる、素晴らしい時間であったと思いました。



(写真撮影 堀 郁子委員)